

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2017年7月10日

報告書名：平成29年度日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

平成29年度 日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

2017年7月10日

事業名	初等教育改善事業 Project for Improvement of Primary Education
事業対象地	アフガニスタン カブール市およびナンガハル県
事業期間	事業期間：2017年2月1日～2017年12月31日
公的資金種別	平成28年度日本NGO連携無償資金協力
契約金・支出状況	契約額：87,880,496円（支出額：37,130,953円）
プロジェクト目標および、達成度	<p>「カブール市およびナンガハル州の児童の学習環境の改善」を目的にこの事業を実施している。以下のとおり、事業全体は計画通りに進んでいる。</p> <p>(ア) 12クラス、415名の児童が安全で快適な教室で学習できている。 校舎は未だ建設段階にあるため未達成である。現在の進行状況は前述の通り。おおむね計画通り進行しており、大きな遅れに繋がる問題は見られない。成果の確認は、校舎完成後の2018年3月下旬に対象校学校長からデータを入手し実施する。</p> <p>(イ) 対象校23校に置いてひと月当たり300冊以上の図書が貸し出されている。 モニタリングの結果によると、6月までに活動を実施した学校10校のうち8校で図書の貸し出し冊数が月平均300冊を超えていた。これまでに実施校のうち8割、事業全体の約3割が当初設定した指標を達成している。</p> <p>(ウ) ①1日当たり120人の児童が学校外教育活動に参加している。 学校外教育活動に関して、これまで計14,729人の児童が子ども図書館を利用しており、1日あたりの利用者は当初設定していた数字とほぼ同じ利用者数である121人であった。</p> <p>②不就学児童35名が教育の提供を得ている。 不就学児童を対象とした特別教室の開始は9月からなので未達成である。</p>
これまでの実施内容・状況	<p>(1) 校舎建設活動 2月から3月上旬にかけて対象校である Shams Tabriz 校を訪問し住民代表との調整を行い、新校舎の概要や建設にあたっての協力体制を協議した。また教育省からの建設許可を取得した。3月下旬には、建設用地の整地を開始（活動1-2-1）。予定されていた祈祷式（新校舎の完成と安全な作業工程を祈るもの）は、治安悪化が原因で中止となったが、事業の遅れに繋がる影響は見られていない。4月には基礎部分の石積み作業(活動1-2-2)を開始、6月末現在で鉄筋コンクリート作業(活動1-2-3)、壁の組石工事(活動1-2-4)、柱の鉄筋コンクリート工事(活動1-2-5)が完了し、おおむね予定通り梁の鉄筋コンクリート工事(活動1-2-6)が進行中である。</p>

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2017年7月10日

報告書名：平成29年度日本NGO連携無償資金協力 中間報告書

	<p>(2) 図書室改善活動</p> <p>以下の活動に伴い、教育局との調整を随時行っている。具体的には研修で使うマニュアルの精査・改定や研修の実施許可の取得等である。6月末までに当初予定した10校のうち9校（カブール市内3校、ナンガハル県6校）に対して、図書室用備品（本棚、机、椅子）と図書660冊を供与し、学校図書室の設置を行った。残りの1校は現在校舎建設が進行中である。そのため、校舎完成後に図書室の整備を行う。教員を対象とした「一般教員研修」を実施した。実施を予定している17校のうち10校での研修を完了し、教員延べ284人が参加した。1校あたり約20人から30人の教員が参加しており、女性教員は全体の3割となる82人であった。カブールにある対象校3校では第1回目の研修を行い、図書の活用法やその利点を取り上げ、読書を通じた教育について基礎知識の習得を図った。また防災をテーマにした紙芝居を利用し防災教育の例を紹介した。ナンガハル県の7校では、各校2回目の研修となり、教員の図書・図書室活用に関する応用的な知識と技能向上を図った。</p> <p>月1回、モニタリングを兼ねた移動図書館活動を実施した。予定の学校22校のうち10校に対し合計34回（8校4回、他2校1回づつ）の移動図書館活動を実施した。移動図書館活動に参加した児童はのべ1,454人である。これまで1回あたり平均43人の児童が参加している。同時に、ナンガハル県教育局の指導主事と当会スタッフによる教員への指導、助言を行った。モニタリングの結果からは、対象校の図書室では毎月平均521冊の貸し出しが行われていた。</p> <p>(3)子どもの学校外教育活動</p> <p>ジャララバード市内で運営する「子ども図書館」において、図書の閲覧、貸し出し、読み聞かせといった図書活動と、絵画、工作、縫製、タラナ（朗詠）教室といった文化活動を実施した。6月末までのべ14,729人が「子ども図書館」を利用しており、一日平均は121人である。</p> <p>上記の図書館において特別行事を実施した。3月の国際女性の日を祝う行事には155人の子どもたちが、6月の母の日を祝う行事には180人の子どもたちが参加した。それぞれのイベントでは、コーランの朗読、詩の朗読、寸劇や人形劇等の活動を行った。</p>
課題と対応策	<p>事業実施地であるカブール市内、ナンガハル県ともに、IS・タリバン勢力やその他反政府勢力のデモにより治安は悪化傾向にある。現時点で事業実施に関わる大きな被害は見られないが、安全の確保が必須である。</p> <p>ナンガハル県の一部地域では、パキスタンからの帰還民が引き続き流入しており混乱が続いている。本事業の学校外教育活動として運営している子ども図書館では利用者の約2割の帰還民の子どもである。</p>